

紙マルチ田植え機を活用した 水稲有機栽培技術の実証

令和5年度作成
(試験実施：令和4年度)

農場の概要

- ・ 地域（行田市谷郷地区）
- ・ 対象作物（有機水稲）

導入した資材等

- ・ 紙マルチ田植え機（三菱マヒンドラ農機）

導入の目的・ねらい

有機栽培における除草労力を軽減する栽培体系の確立

試験概要

- ・ 実証区：紙マルチ田植え機による有機水稲移植ほ場
- ・ 栽培品種：オオナリ
- ・ 施用量：紙マルチ（190cm×170m）3.3本／10a
- ・ 主な管理作業
移植：7月2及び3日
収穫：10月31日



紙マルチ移植直後

結果概要

紙マルチにより収穫時期までほぼ雑草の発生を抑えることができた。

しかし、移植速度が慣行の2/3程度であり、苗補給に加え紙マルチロールの補給も必要であるため移植に時間がかかってしまい、効率良く作業しても1日に1haが限界であった。

また、紙マルチ敷設直後は田面が露出すると風でめくれてしまうこと、水を勢い良く入水するとめくれてしまうといった課題も残った。

生産者コメント

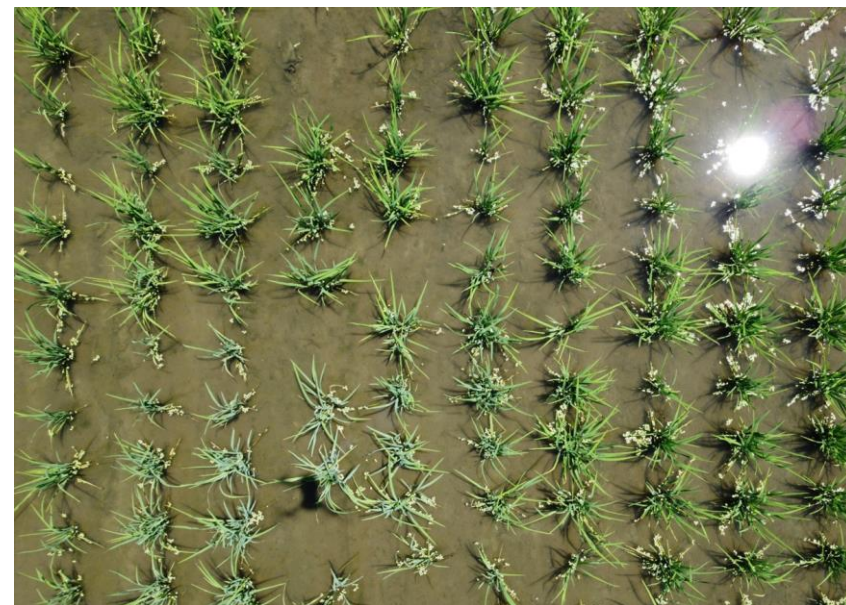
紙マルチによる雑草抑制効果を実感することができた。

移植時に苦労するが、収穫時期まで雑草が出なかったため、その価値はあると思う。今後も紙マルチ田植え機を利用して有機管理を継続し、有機JAS認証の取得を目指したい。

問合せ先

加須農林振興センター

電話 0480-61-3911



移植後20日後の様子



移植後30日後の様子